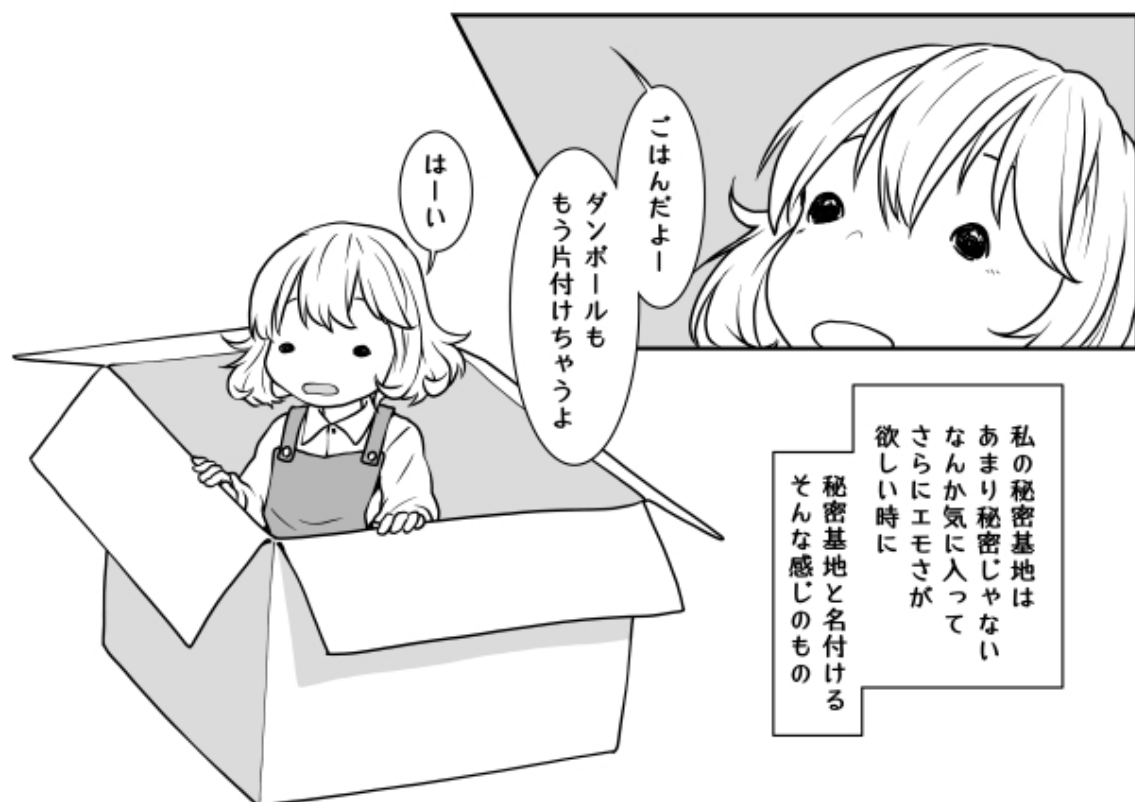


# 秘密基地





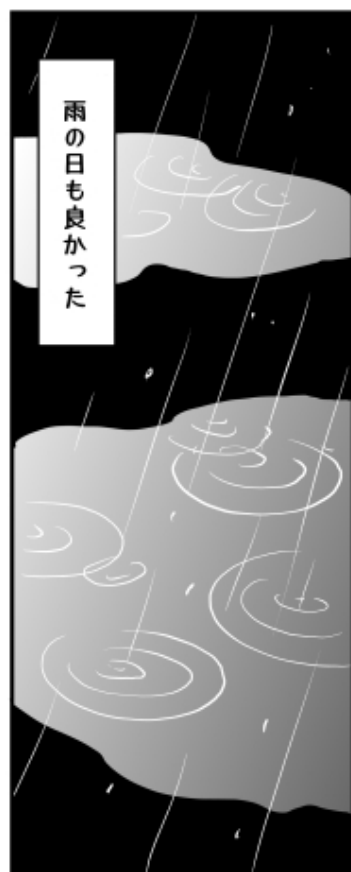
## 秘密基地とは



# 秘密基地

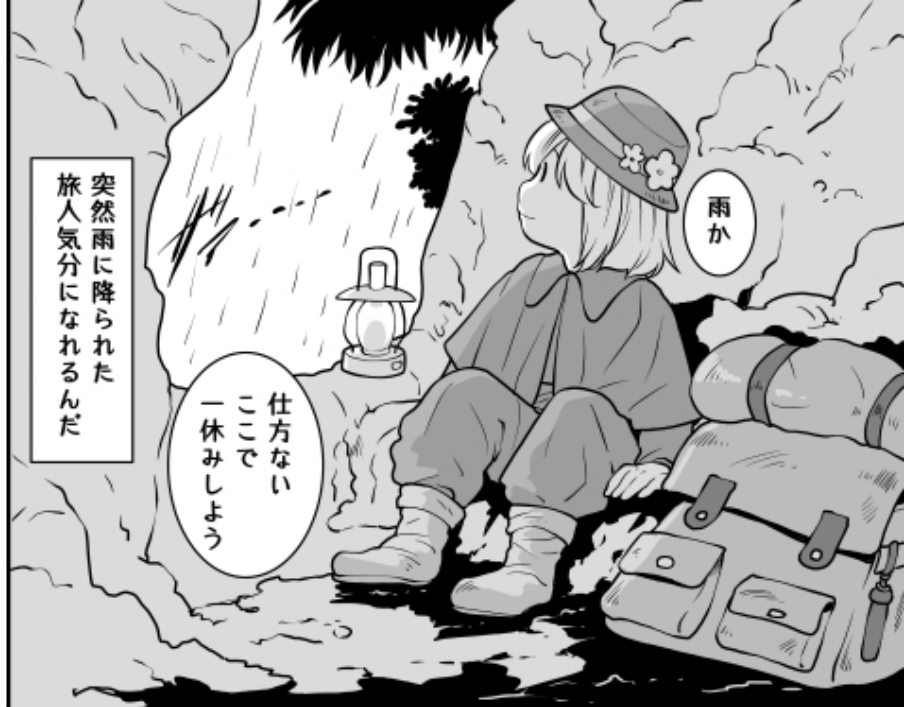


## 思い出深い秘密基地





旅人は  
一休みの時  
大抵何かを  
食べている



突然雨に降られた  
旅人気分になれるんだ

仕方ない  
ここで  
一休みしよう

雨か

ここで特に  
気に入って  
食べてたのが  
明治のしましまクッキー

しましまの  
どうぶつ  
クッキー

当時 このパッケージが  
すごくお洒落な  
感じがして好きでした  
中のクッキーも  
サクサク軽い食感で  
今でもまた食べた  
くなることがあります

1箱 150円  
でした

ご存知の方は 多分 50代以上かな〜



ちなみに晴れの日の設定

お気に入りの  
おやつを食べる時には  
シチュエーションにも  
こだわりたい！

この秘密基地は  
ありとあらゆる  
世界につながる  
特別な装置だった

今日は  
外が砂嵐だ

仕方ない  
ここで  
一休みしよう





中学にあがった  
ばかりの頃も  
まだまだここは  
大切な秘密基地だった

ここが秘密基地だって  
知ってるのは私だけ  
みんなにはただの机

この秘密ポイントが  
大事なので  
ずーっと秘密に  
しておくんたく



今でもアイスの実を  
食べる時は  
この秘密基地を思い出す

アイスの実  
随分変わったけど  
美味しい

ところでここが  
秘密基地だってこと  
今まで誰にも  
言ったことないかも

いやー  
気がつけば  
そんな年...

50 超えるまで  
秘密にしてたわー



## 人気の秘密基地

私が暮らしていた所は  
工場の下町的な地域  
子ども達が秘密基地  
として潜り込めそうな  
場所はなかなかなかった

治安の良い地域では  
なかったの  
そういう場所はキケンでした

秘密基地として  
あこがれの物件(?)

防空壕跡  
などのほら穴

謎の作業小屋  
みたいなの

そんな地域でも  
子どもというものは  
それらしい場所を  
見つける生き物です

それは一本の  
木の上にあった

誰がもってきたのか  
木の枝に一本の棒が  
渡ってあった

ただそれだけの  
場所だったが

そこは子どもが  
二人腰掛けることができ  
さらに居心地も良い  
最高の場所だった

ここはいろんな  
内緒話をするのに  
もってこいの  
秘密基地だったんだ



